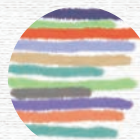


平成27年度

京都環境  
文化学術  
フォーラム  
Special Session



佐藤 正弘 (さとう・まさひろ)  
内閣府計量分析室参事官補佐

ハーマン・デイリーの思想  
～有限な地球の経済学～



中洞 正 (なかほら・ただし)  
なかほら牧場 牧場長・東京農業大学客員教授

幸せな牛からおいしい牛乳



吉野 慶一 (よしの・けいいち)  
Dari K (ダリケー) 株式会社 代表取締役

社会課題の解決に向けた取り組み

12月12日(土)  
14:00～17:00

京都大学「国際科学イノベーション棟」  
5階ホール 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 36-1

入場無料・要申込

定員：270名(先着順)

お申込：ウェブサイト申込みフォーム、FAXいずれかの方法でお申込み下さい。



■ ウェブサイト

<https://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/form/kyforum/>  
左 QR コードよりアクセスできます。

■ Fax

075-753-9187

件名「京都環境文化学術フォーラム」、氏名、所属(差し支えなければ)  
をご記入の上お送りください。

主催：京都環境文化学術フォーラム

(京都府、京都市、京都大学、京都府立大学、人間文化研究機構総合地球環境学研究所、人間文化研究機構国際日本文化研究センター)

企画運営：京都大学 地球環境学堂 (地球環境フォーラム・はんなり京都嶋臺塾 特別企画)

あたらしい成長の形  
定常化社会を考える

# 定常化社会を考える あたらしい成長の形

「KYOTO 地球環境の殿堂」の第7回殿堂入り者の一人に、ハーマン・デイリー教授が選ばれました。スペシャルセッションでは、デイリー教授の業績を振りかえり、持続可能な発展のために、経済的利益のみを追求するこれまでの多くの企業経営とは一線を画す試みを紹介しつつ、いまひとりひとりがなにをすべきなのか議論してゆきたいと思います。

## ゲスト

**佐藤 正弘** (さとう・まさひろ)  
内閣府計量分析室参事官補佐

佐藤さんにはデイリー教授の考えをわかりやすくお話しできます。「ハーマン・デイリーの三原則」あるいは「定常経済」とは何なのか。さらには、これからどのような経済発展がありうるのか、お話しできます。

**中洞 正** (なかほら・ただし)  
なかほら牧場 牧場長・東京農業大学客員教授

中洞さんは、岩手で酪農を営んでいます。牛は、人が食べることのできない草を食べ、栄養価の高い牛乳を生産します。このあたりまえのことができなくなっています。中洞さんには、酪農の現状と問題、そしてそれを変えてゆく試みについて話していただきます。

**吉野 慶一** (よしの・けいいち)  
Dari K (ダリケー) 株式会社 代表取締役

吉野さんは外資系の証券会社勤めを思うところがあって辞め、京都でチョコレート屋を始めました。お金の世界からものつくりの世界へ。思ったのは「チョコレートで社会を変えたい」ということ。生産地と消費地を「正しく」つなげることで、より豊かな世界が築けそうです。

## プログラム

開会挨拶 14:00 - 14:05

藤井 滋穂 (ふじい・しげお) 京都大学大学院地球環境学学教授

講演 1 14:05 - 14:45

**ハーマン・デイリーの思想～有限な地球の経済学～**

佐藤 正弘 内閣府計量分析室参事官補佐

講演 2 14:45 - 15:25

**幸せな牛からおいしい牛乳**

中洞 正 なかほら牧場 牧場長・東京農業大学客員教授

講演 3 15:35 - 16:15

**社会課題の解決に向けた取り組み**

吉野 慶一 Dari K (ダリケー) 株式会社 代表取締役

パネルディスカッション 16:15 - 16:55

パネリスト 佐藤 正弘・中洞 正・吉野 慶一

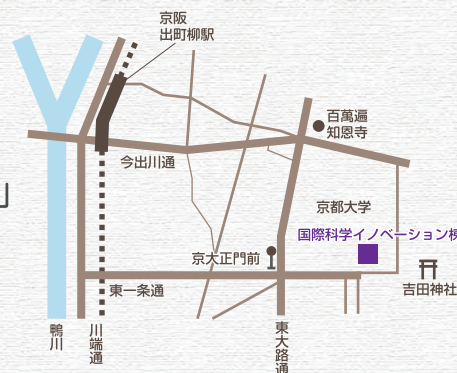
コーディネーター: 阿部 健一 (あべ・けんいち) 総合地球環境学研究所教授

閉会の辞 16:55 - 17:00

宇佐美 誠 (うさみ・まこと) 京都大学大学院地球環境学学教授

## アクセス

京都大学  
「国際科学イノベーション棟」  
5階ホール  
〒606-8501  
京都市左京区吉田本町 36-1



### 『KYOTO 地球環境の殿堂』表彰式

日時: 平成 28 年 2 月 13 日 (土) 午後

#### 第7回殿堂入り者

- デヴィッド・スズキ 氏 / セヴァン・カリス・スズキ 氏
- ハーマン・E・デイリー 氏

場所: 国立京都国際会館 メインホール

内容: 殿堂入り者表彰式、記念スピーチ ほか

主催: 「KYOTO 地球環境の殿堂」運営協議会

※表彰式の後、殿堂入り者を交えた「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウムを開催。